

緑のセンターだより

No. 250 令和2年1月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

もち
ち (糯米)イネ科イネ属 *Oryza sativa*

お正月を迎えて、鏡餅を供え、お雑煮や焼いたお餅を楽しんでいる方も多いのではないのでしょうか？

餅の材料となるモチ米ですが、実は“モチ”という和名の植物はありません。“モチ”は“イネ”の中で性質の違いで分けられた品種群のことをいいます。

イネには含有するデンプンの性質により主に白米として食べるうるち（粳）米と、調理を行った際に強い粘性を生じる特性のもち（糯）米があります。食品としては、うるち米を単に“コメ”といい、もち米は“モチ米”と言い分けているそうです。

うるち米も炊くとそれなりに粘り気はありますが、ついたときに違いが出ます。この差はアミロースという成分の有無によるもので、もち米はこのアミロースが含まれていないか、わずかしかな含まれないため、つくると強い粘性が出て「餅（もち）」ができあがります。



左がコメの穂 右がモチ米の穂



↑ コメの穂



↑ モチ米の穂

どちらも水田で栽培され、栄養的にもそう変わらないそうですが、コメよりモチ米の方が小粒で、モチ米の方が若干、収穫量が少ないです。

また、モチ米もコメも夏に花を咲かせますが、モチ米にコメの花粉が交配してしまうとコメの性質に近い物ができてモチ米としての品質が落ちてしまうため、モチ米を作る田んぼはコメを作る田んぼと離しているそうです。

こうして作られるモチ米からできる餅は、昔から臼と杵^{きね}について作り、お正月やお祝い事に皆で食べる習慣がありました。特にお正月に飾る鏡餅は、鏡と同じ神聖な形とされる円形に作り、新年になるとやってくる年神様をお迎えするために供えたものです。

お祝いで食べるお赤飯もモチ米で作ります。そういった記念日以外でも、お汁粉や、焼いた餅に砂糖醤油やきな粉をつけたり、最近ではチーズをのせて食べたりと様々な料理で楽しまれています。

ただ、餅は糖質を多く含むため、すぐ使うエネルギー源としては優れていますが、ついて凝縮されている分、食べ過ぎには注意しましょう。

1月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00
★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付、翌平日に休み)
※12/29～1/3 は年末年始のため休館します。
※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付していません。

		作業時期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木・果樹・花木	雪害からの保護			樹冠や枝に積もった雪は落とし、枝折れなどを事前に防ぐ。また、道路際の生け垣や庭廻りの小低木は、除雪や落雪による損傷に留意する。冬囲いの補強や点検を行い、必要に応じて除雪する。雪折れなどが発生した際は、損傷部の修復を早めに行う。
	盆栽	花後管理			松竹梅の寄せ植えなどは、観賞後早めに5℃前後で管理するか、庭に出して地面まで雪を掘って鉢のまま入れて雪で覆っておく。
室内園芸	鉢花	温度管理			シクラメン、アザレア、プリムラ類等は、10℃～20℃の日当たりの良い窓辺に置いて管理する。鉢花は環境の変化を嫌うので、こまめな移動は避ける。
		水やり			日にちを決めず鉢の重さ確かめて与える。受け皿の残り水は捨てる。
		施肥			シクラメン、プリムラ類、ペゴニア類など開花を続ける鉢は薄めの液肥を与える。
		病虫害防除			ウドンコ病、灰色カビ病、カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ等の早期発見と防除。
	野菜	モヤシ作りを楽しむ			マメ類、ソバ、麦、大根など。(平成23年1月のセンターだより参照)
		保存野菜点検			先月に続き保存野菜類の状態点検。取り出した後の再格納はしっかりと。
	洋ラン	温度管理			シンビジウム、カトレアなど比較的低温性の株は明るい10～20℃。コチョウランなどは18～25℃で管理する。
		水やり			生育最低温度が保てる場合、鉢が軽くなり植込資材が乾いたら充分与える。
		施肥			成長を続ける種類は液肥を与える。シース(花芽を包む苞葉)や蕾の出ている株には与えない。
	多肉植物	温度管理			花後のシャコバサボテン・カランコエなどは、10℃前後の明るい場所で管理。
		水やり			アロエ、クラッスラ等は灌水を控える。冬型種(アエオニウム、リトープス等)は用土が乾いたら灌水。
	観葉植物	水やり			鉢を持ちあげて軽く感じたら充分に灌水。
		施肥			成長を続ける鉢(ボトス、オリヅルランなど)は、月1～2回夏より薄い液肥を与える。成長しない鉢には与えない。
		病虫害防除			カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ、オンシツコナジラミなどの発生が多くなる。早期発見、早期防除が肝要。



Q お正月を飾った樹・草物・寄せ物などは、花後はどのように管理すれば良いでしょうか。
(東区 W.K さん)

A 寒さに弱い植物、強い植物を分けて管理すると良いでしょう。

寒さに弱い植物・・・生育を抑えるため5℃前後のところに置き、水を控えめにし春まで管理します。

寒さに強い植物・・・地面が出るまで雪を除いてから鉢を置き、枝の間に雪を詰めるように入れ込んだ上で雪を重ねて埋めてしまいます。枝折れが懸念されるときは支柱を添えるか、板などで屋根を作って周りを囲い、雪を被せて越冬させます。

寄せ植えの植物・・・根鉢を崩さずに駄温鉢に赤玉土を用いて植替え、寒さに強い植物と弱い植物を分けて、それぞれ上記の要領で管理すると良いでしょう。

お正月を飾る植物としてよく見るナンテン、センリョウ、マンリョウですが、自生地はナンテンとセンリョウが本州中部以南、マンリョウが関東以南で、短期間の寒さには札幌でも耐えられますが、屋外での冬越しは難しいです。寒さに弱い植物として、上記の要領で管理してください。

また、お正月を飾る花としてウメが使われますが、開花後、花の咲いた枝は2～3節残して剪定し、樹形を整えながら高さを2/3～3/5に切り詰めます。太い枝は切らずに細い枝の葉芽のある節で切り、前年に伸びた枝は2芽を残して切ると良いでしょう。その後は、寒さに強い植物と同じ要領で管理します。

展示会・開花情報（2020年1月～2020年2月）

冬の花の共演

寒さが日々厳しくなるこの季節。百合が原緑のセンターでは、開花期間も長く花色や花形が豊富で、室内を華やかな雰囲気に変えてくれる冬の鉢花シクラメンや、古典園芸として長く日本人に愛され



〒002-8082

北区百合が原公園 210

TEL. 011-772-3511

JR 学園都市線

「百合が原」駅下車

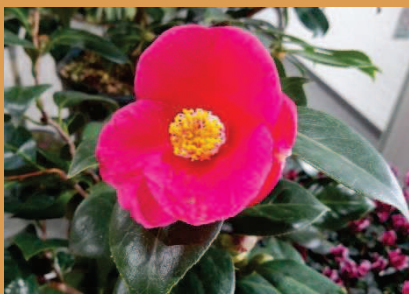
徒歩7～10分



ているツバキやサザンカ。枝にたわわに実ったウンシュウミカンや ユズ、カボスなどの柑橘系植物や、花弁の形から咲き方、色や模様まで非常に種類豊富なクリスマスローズなど、多くの色彩豊かな植物をご覧ください。

- ・市民ラン展 1/21（火）～ 1/26（日）※最終日は15時まで
- ・福寿草と雪割草展 1/28（火）～2/16（日）

色鮮やかな花々

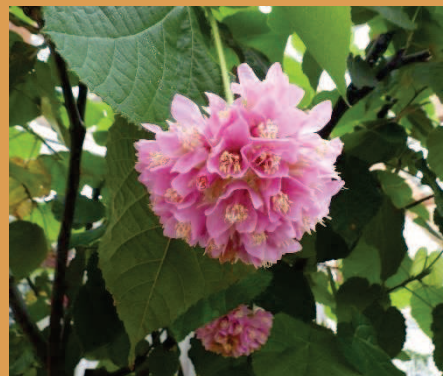


外は寒く真っ白な世界ですが、センター内では色鮮やかな花が心を温めてくれます。

正面玄関に入るとツバキが咲き誇ります。

冬の定番とな

った「ドンベア」は東アフリカ、マダガスカル原産の植物で、原産地では高さ9mにもなります。2階ホールでは大きな鉢で育てているので、目の前で花を見ることが出



来ます。花はシナモンと蜂蜜のような甘い香りがするので是非、近くで嗅いでみてください。



〒062-0905

豊平区豊平5条13丁目

TEL. 011-811-6568

地下鉄東豊線

「豊平公園」駅下車

1番出口徒歩1分

- ・豊平フォト展 1/7（火）～ 1/19（日）
- ・カラーリーフ展 2/4（火）～ 2/16（日）

イベント情報（1～2月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
冬の鉢花の病害虫防除	1月21日(火)	13:30～	100円	40名	1/11(土)～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511

<http://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
キャンドル作り	1月18日(土)	14:00～	330円	20	申込受付中
洋ランの育て方	1月26日(日)	13:00～	130円	20	1/11(土)～

【イベント】	開催場所	開催日	時間	料金	電話番号
冬のまちに スノーキャンドルの 灯りをともそう！2020	豊平公園	1月18日(土)	詳細は各施設へ お問い合わせください		811-6568
	百合が原公園				772-4722
	創成川公園				221-4100
	そのほか、市内各所で開催しています！				
まちに灯りをinみどりーむ	平岡樹芸センター	1月25日(土)	15:00～	無料	豊平公園まで



1月7日(火) ~ 19日(日)

**豊平公園
フォトコンテスト**

いよいよ開催！

今年の9月から募集していた写真を展示いたします。
植物部門、景観部門、加工写真部門のそれぞれで皆様の投票により、
「最優秀賞」「優秀賞」「特別賞」を決定します。
ベストショットだと思ふお気に入りの写真へのご投票をお待ちしています。